

No.1830

第1831回例会

2018年11月30日(金)12:30~13:30

点鐘

ロータリーソング “四つのテスト”

会食 (洋食)

会長会務

* ビジター・ゲスト紹介。

* 私の故郷は八頭町の標高490mの山村です。戸数12件、人口16人の今でいう“限界集落”です。4件がワサビの栽培をして現金収入としています。

子どもの頃は山や川で泥んこになって日が暮れるまで遊んでいました。そんな思い出のある方も多いのではないのでしょうか。冬は積雪が2m以上となって1階の屋根のヒサシまでの高さになるので、2階から出てそのまま“雪踏み”をしてカマクラを作っていました。

以前、県外から若い人が村に住んだことがありますが、2年経って補助金が切れると同時に姿を見なくなりました。自然にあこがれての移住は小さいころよりの田舎育ちの“DNA”がないとまず無理です。

不便で何もない所ですからとにかく体を動かして汗をかかないと何も始まりません。

こうしてロータリークラブでしゃべらせてもらっている時と村で動き回っている時のギャップは心地よいものです。

“西ロータリーの森をつくって限界集落に夢を”というような事業が出来たらと考えたこともありますが、夢以前の体力勝負となりますので今は考えないことにしています。

* 11月の皆勤賞を差上げます。

山下卓治会員 19年 倭島昭博会員 19年

幹事報告

* 例会後、次期理事会を開催します。

委員会報告

* 親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

* ゴルフ同好会

卓話「ウガンダの文化と産業」

鳥取大学留学生 ワチャル・コスマス 氏

先回(第1830回例会)の記録

2018年11月16日(金)12:30~13:30

会長会務

* 今年もたくさんの実をつけていましたので、実家の柚子取りをしてきました。冬至の頃に柚子風呂に入るとその年は風邪をひかずに過ごすことが出来るということで、古来より柚子風呂に入る習慣があります。私も子供の頃は毎日柚子風呂に入りましたが、最近ではめったに入ることとはなくなりました。柚子の実る頃になると、あの香りとともに子供の頃が懐かしく思い出されます。

めぐる季節の中で、古来よりの風習も楽しみながら大事にしていきたいものです。

幹事報告

* 例会変更のお知らせ。

鳥取 12月20日(木) Xmas家族会

12月27日(木) 休会・定款

鳥取北 12月18日(火) 年忘れ家族会

12月25日(火) 休会・定款

例会変更のみ、ビジターの受付は定時定例会場にて行われます。

* 当クラブ12月14日(金) 年忘れ家族会の夜間例会、12月28日(金) 定款により休会。

出席率

11月16日 会員55名 欠席12名 77.78%

11月 2日 メーキャップ 12名 98.15%

メーキャップ会員

11月12日 平野敏和 葉狩弘一 米村年博

山下卓治 大野憲一 山下朋宏 山根宗信の各会員 鳥取中央RCへ

11月13日 平野敏和 森原義博 森 雅道の各会員 鳥取北RCへ

スマイル

* 木原一志会員/本日は第2回IDMの発表をしていただきます。各班のリーダー、世話人さんにはお世話になりました。宜しく願います。

* 葉狩弘一会員/最後のお願いです。選挙ではあ

りません。いよいよ市民税金フォーラム明日(22日)13:30です。今注目のコメンテーター山口真由さんの講演を聞いて、あなたも変わってください。

- * 加藤一吉会員 / IDM5班多田リーダー、牧浦世話人、お世話になりました。
- * 山下卓治会員 / IDM第3班の皆様、ご苦労様でした。本日、発表致します。
- * 岡本安量会員 / IDM第1班の皆様、田中リーダーお疲れ様でした。二次会、楽しかったです!
- * 牧浦康寛会員 / IDM第5班、多田リーダー、メンバーの皆さん、お世話になりました。
- * 大野憲一会員 / 田中章夫さん、IDMでありがとうございました。皆さん、ありがとうございました。
- * 上野賢治会員 / ①IDM5班の皆様、お世話になりました。②大野さん、ありがとうございました。
- * 坂本直会員 / 72才となりました。もう少し世間に関わり続けたいと思います。
- * 瀧本浩志会員 / 森原義博会員 / 誕生日。
- * 伊藤紀子会員 / 来月無事に第28期を迎えられるよう、頑張っているところです。(創業祝)
- * 早退・遅刻4件 合計 27,000円
- * 米山特別寄付: 1件

親睦出席委員会

年忘れ家族会のご案内。12月14日(金)18:30~出欠席の締め切りは12月6日(木)、会費は12月7日例会にて集めます。

油谷副会長

11月30日例会後、次期理事会を開きます。

クラブフォーラム「IDMの総括」

テーマ / 40周年記念事業に向けて(記念事業にどんな内容を盛り込むか)

*第1班 11月9日 10名

- ・ 式典の日程はおおよそ決めているが、来賓・OB・他クラブとの調整が必要
- ・ 継続事業は今までは「いのちの電話」「物故会員追悼式」などで、2案とも賛同を得た。
- ・ 追悼式については、ニューオータニではなく場所を変えて行ってはどうか。
- ・ 瀧田先生のお孫さんが、管弦楽団の演奏をして頂けるとの情報に満場一致であった。

*第2班 11月6日 10名

- ・ 鳥取県にこだわらず、東南アジア向けにマンスリーブプログラムはどうか?
- ・ 卓話をいただいた上野和生さんになにかできないか?
- ・ 子ども食堂は中止。
- ・ ロボットは今後小中学校の授業でプログラミングが取り入れられる事もあり、こだわり過ぎず選定していく必要がある。
- ・ 「四つのテスト」はロータリークラブの行動指針であるため、実施してみてもどうか。
- ・ 瀧田先生のお孫さんの楽団に文化講演を行って

頂きたい。

*第3班 11月8日 10名

- ・ 「地域振興・地域再生」の提案もあったが、具体的な意見はほぼ出なかった。ただ、記念事業に向けての方向性を示すキーワードは多数出た。
- ①地域社会へ奉仕。②ニーズを捉える。③未来を担う子供たちへの支援、人材育成。④自分達が自ら汗をかく。⑤西クラブを外向きにわかりやすく表現できる事業。⑥行政と連携できないか。
- ・ 予算を使う、物をつくるのが良いわけではなく、色々な形の記念事業を皆で知恵を出し見つけていきたい。

*第4班 10月30日 10名

- ・ 植樹は枯れるため、管理が大変
- ・ 記念事業として形を残すため、街のネオンやルミナリ工的なものはどうか。
- ・ 物ではなく無形のものでもよい。
- ・ 講演会であれば市民参加型、青少年育成的な小中学生向け、オリンピックイヤーにちなんだスポーツ関係、若い経営者向け等。
- ・ イベントであれば砂丘を使ったもの、お寺でのライブ、瀧本会員の娘様をお願いしては?等
- ・ 予算に関しては記念誌はデータ化し、冊子を割愛し予算を浮かすことやYOUTUBEなどに出せば様々な方に知って頂ける。他ロータリーの先駆けになるのでは。

*第5班 11月9日 11名

- ・ 市民自由参加形式のシンポジウム、植樹等の寄贈形式がいいのでは。
- ・ まず方向性を決めるべき(青少年・国際など)
- ・ 西クラブらしさを踏まえ、過去の事業は継続する。
- ・ いのちの電話の支援は時代背景を見ながら金額を考慮する。
- ・ 久松山頂上や新県立病院への桜の植樹、寄贈はどうか。植樹した桜の下で毎年花見例会ができれば。
- ・ 若桜鉄道と桜の植樹をコラボさせてはどうか。
- ・ 鳥取のシンボルである鳥取城の再建、付近の再開発。
- ・ こども学園は粛々と継続、在園・卒園した子どもたちへの継続支援。

会長総括

色々な意見が出ましたが、方向性と目的をしつかりと踏まえ、今後考えて行きたい。全員が40周年事業に向けて汗をかく形で参加して頂けるものにしていきたい。

次週例会予定

2018年12月7日(金)第1832回例会

卓話「鳥取県の経済情勢」

中国財務局鳥取事務所 所長 田村 文孝 氏

(編集者 森 雅道)